

平田忠男さんからの

[写真展]「アスベストの真実を語った人びと」開催の案内 (無料)

6月19日(金)~21日(日)の3日間 AM10時~PM4時
尼崎市総合文化センター2F ギャラリーアルカイク

みなさん、こんにちは。平田忠男です。

今年も、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会(尼崎支部)主催で、「クボタショック “から15年目の尼崎集会”」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら延期せざるを得なくなりました。

そこで、6月19日(金)~21日(日)の3日間AM10時~PM4時尼崎市総合文化センター2F ギャラリーアルカイクにて(無料) [写真展]「アスベストの真実を語った人びと」を開催します。尼崎市内在住の方は、お時間あれば、どうぞ、覗いてみてください。

県尼はクボタ旧神崎工場から1.5キロの範囲内にあり、工場で石綿管を製造していた昭和29年~50年に通学していた生徒は、誰が中皮腫を発症してもおかしくはありません。現に、残念ながら、37会のメンバーにも被害者が出ています。各学年を合わせた同窓生や、さらにその家族、親戚、知人を足せば、クボタ旧神崎工場からの石綿暴露による石綿健康被害者は数十人、あるいは三桁に及んでいるかも。

これからは、高度経済成長時代に建てられた石綿含有ビルの解体工事が、2020年代にピークを迎えます。

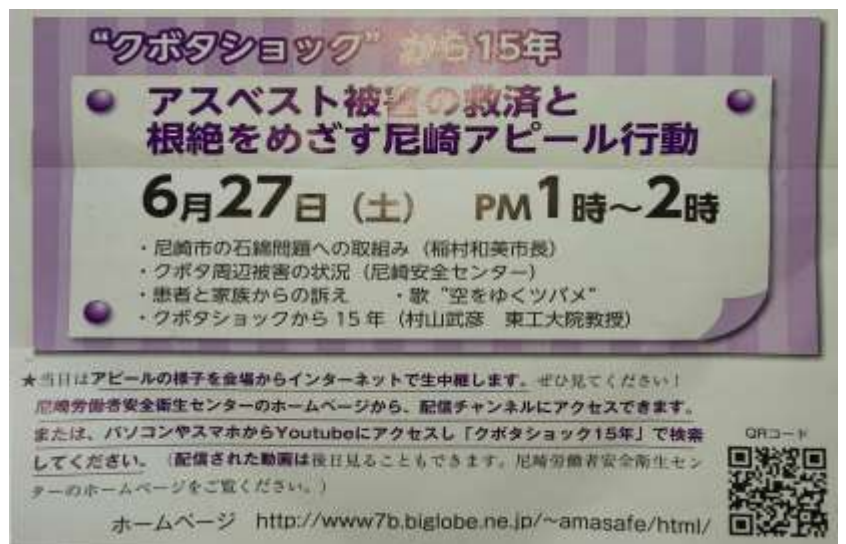
法制度の不備や建設関係者、各自治体の認識不足などから全国的に石綿の飛散が懸念されているのが現状です。石綿暴露から約20年~50年を経て発症するとされる中皮腫、それ以外にも石綿が原因の肺がんは、その2倍以上の確率で出現すると専門家は警鐘を鳴らしています。

中皮腫被害者は、ここ数年、毎年1500人を超え、更に増加すると予想されています。80歳を超えて発症するケースも珍しくありません。私達も後期高齢者になりましたが、まだまだ元気でいたいものです。

ぜひ、みなさん、年一回のアスベスト検診を、また肺がん検診の折には、石綿工場の近くに住んでいたと問診票に記入してください。医師の診断に大いに参考になります。尼崎市内在住の方は、お時間あれば、どうぞ、会場を覗いてみてください。

長くなって恐縮ですが、コロナ禍の1日も早い収束を願いつつ、毎年の37会でみなさんとお逢いできることを楽しみにしている平田からのみなさんへのご案内です。

どうぞ、よろしくお願いたします。



併せて、6月27日「尼崎アピール行動」についてもよろしくお願いたします。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~amasafe/html/>